

## I 基本的な事項

令和3年度の事業実施にあたっては、健全な財政運営を基本に的確な収支計画を立て、共済組合制度との調整を図り、会員ニーズに対応した福利厚生事業を効果的に実施した。

資金運用にあたっては、安全性を最優先とした運用を行い、互助会資産の保全を図った。

## II 一般的な事項

### (1) 会員数

単位：人

区 分	令和元年度末	令和2年度末 (A)	令和3年度末 (B)	前年度比較 (B-A)
会 員 数	19,262人	19,040人	18,683人	△357

### (2) 掛金

単位：円

区 分	令和元年度	令和2年度 (A)	令和3年度 (B)	前年度比較 (B-A)
掛 金	384,087,037	374,320,714	365,625,964	△8,694,750

### Ⅲ 各会計の決算概要

#### 1 貸借対照表

(1) 貸借対照表の概要

単位:千円

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	令和2年度 決算額A	令和3年度 決算額B	前年度比較 (B-A)	科 目	令和2年度 決算額A	令和3年度 決算額B	前年度比較 (B-A)
流動資産	512,660	486,592	△ 26,068	流動負債	72,178	68,011	△ 4,167
現金	256	150	△ 106	未払金	8,741	9,680	939
小口現金	100	100	0	前受金	0	22	22
普通預金	308,217	433,237	125,020	預り金	63,437	58,309	△ 5,128
定期預金	200,000	50,000	△ 150,000				
未収金	3,492	2,240	△ 1,252	固定負債	2,944,760	2,547,363	△ 397,397
前払金	138	138	0	職員退職	14,556	15,572	1,016
立替金	38	109	71	会員退会給付	2,725,105	2,373,519	△ 351,586
貯蔵品	419	618	199	長期前受金	194,659	149,252	△ 45,407
固定資産	6,777,836	6,319,197	△ 458,639	慶弔給付引当金	10,440	9,020	△ 1,420
特定資産	2,958,096	2,620,657	△ 337,439	負債合計	3,016,938	2,615,374	△ 401,564
職員退職	14,556	15,572	1,016				
直営施設	290,362	267,378	△ 22,984	正味財産の部			
会員退会給付	2,653,178	2,337,707	△ 315,471	正味財産	4,273,558	4,190,415	△ 83,143
その他固定資産	3,819,740	3,698,540	△ 121,200	(うち特定資産への充当額)	(290,362)	(267,378)	(△22,984)
土地	508,692	508,692	0	当期正味財産増減額	(△75,884)	(△83,143)	(△7,259)
建物	481,880	459,152	△ 22,728				
建物付属設備	173,761	154,336	△ 19,425				
構築物	863	643	△ 220				
什器備品	3,735	3,367	△ 368				
ソフトウェア	7,860	5,188	△ 2,672				
投資有価証券	1,789,837	1,707,683	△ 82,154				
貸付金	853,112	859,479	6,367				
			0				
資産合計	7,290,496	6,805,789	△ 484,707	負債及び正味財産合計	7,290,496	6,805,789	△ 484,707

#### ア 流動資産

- ・普通預金や定期預金の変動は、資産運用の状況等により変動するもの。また、投資有価証券や貸付金とも併せて変動する。
- ・未収金の主な内容: 会館3月利用料

#### イ 固定資産

- ・職員退職給付引当金の内訳 (単位:千円)

経理	金額
法人会計	1,905
その他会計 会館経理(長岡)	13,667
合計	15,572

- ・直営施設整備積立金は、現在は積立を行っておらず、支出に応じて減少しているもの。  
会館への貸付金について、本積立金より行っている。
- ・会員退会給付準備引当金は、会員退会給付事業を廃止しているため、以前の引当金を支出に応じて取り崩していくもの。

#### ウ その他固定資産

- 投資有価証券保有状況 (単位:千円)

経理	金額
その他会計 福利厚生経理	951,793
保険経理	60,001
医療互助経理	695,889
合計	1,707,683

エ 流動負債 未払金の主な内容

・3月分職員賃金、3月分業者への支払 等

オ 流動負債 預り金の内容

・その他会計(保険、会館)、法人 … 生命保険料預り(57,731千円)、社会保険料等預り(578千円)

(2) 会館経理 施設別貸借対照表の概要

ア アトリウム長岡

(単位:千円)

借 方				貸 方			
科 目	令和2年度 決算額A	令和3年度 決算額B	増 減 額 (B-A)	科 目	令和2年度 決算額A	令和3年度 決算額B	増 減 額 (B-A)
流 動 資 産	19,334	12,860	△ 6,474	流 動 負 債	57,233	75,036	17,803
現 金	202	116	△ 86	未 払 金	4,036	4,756	720
小 口 現 金	50	50	0	前 受 金	0	22	22
普 通 預 金	16,322	9,361	△ 6,961	預 り 金	197	258	61
未 収 金	2,364	2,740	376	法 人 借 入 金	53,000	70,000	17,000
その他流動資産	396	593	197	固 定 負 債	13,295	13,666	371
固 定 資 産	811,652	783,669	△ 27,983	職 員 退 職	13,295	13,666	371
土 地	308,692	308,692	0	負 債 計	70,528	88,702	18,174
建 物	341,028	323,834	△ 17,194	正味財産の部			
建物付属設備	145,201	130,994	△ 14,207	正味財産	760,458	707,827	△ 52,631
構 築 物	409	243	△ 166	当期正味財産増減額	△ 71,565	△ 52,631	18,934
什 器 備 品	3,027	2,853	△ 174	計	830,986	796,529	△ 34,457
ソフトウェア	0	3,386	3,386				
引 当 資 産	13,295	13,667	372				
資 産 計	830,986	796,529	△ 34,457				

イ 高陽荘

(単位:千円)

借 方				貸 方			
科 目	令和2年度 決算額A	令和3年度 決算額B	増 減 額 (B-A)	科 目	令和2年度 決算額A	令和3年度 決算額B	増 減 額 (B-A)
流 動 資 産	12,088	12,294	206	流 動 負 債	25,915	32,404	6,489
現 金	54	33	△ 21	未 払 金	2,877	3,354	477
小 口 現 金	50	50	0	預 り 金	38	50	12
普 通 預 金	10,695	10,588	△ 107	法 人 借 入 金	23,000	29,000	6,000
未 収 金	1,128	1,460	332	固 定 負 債	0	0	0
その他流動資産	161	163	2	職 員 退 職	0	0	0
固 定 資 産	370,423	359,465	△ 10,958	負 債 計	25,915	32,404	6,489
土 地	200,000	200,000	0	正味財産の部			
建 物	140,852	135,318	△ 5,534	正味財産	356,595	339,355	△ 17,240
建物付属設備	28,559	23,342	△ 5,217	当期正味財産増減額	△ 26,199	△ 17,241	8,958
構 築 物	454	401	△ 53	計	382,510	371,759	△ 10,751
什 器 備 品	558	404	△ 154				
引 当 資 産	0	0	0				
資 産 計	382,511	371,759	△ 10,752				

※負債「法人貸入金」=新型コロナウイルス感染症拡大により、会館利用者が大幅に減少したことから、資金繰りが厳しくなり、法人会計(直営施設整備積立金)より、資金の貸し出しを行ったもの。

## 2 正味財産増減計算書(実施事業等会計 継1 公益文化)

### (1) 正味財産増減計算書の概要

単位:千円

区分	科目	令和元年度 決算額	令和2年度 決算額 A	令和3年度 決算額 B	前年度比較 (B-A)
収益	収益	0	0	0	0
	計 ①	0	0	0	0
費用	事業費	12,217	638	30,819	30,181
	計 ②	12,217	638	30,819	30,181
評価損益前計上増減額 (①-②) ③		△ 12,217	△ 638	△ 30,819	△ 30,181
投資有価証券評価損益等 ④		0	0	0	0
他会計振替 ⑤		12,217	638	30,819	30,181
正味財産増減額 (③+④+⑤) ⑥		0	0	0	0
正味財産期首残高 ⑦		0	0	0	0
正味財産期末残高 (⑥+⑦) ⑧		0	0	0	0

【備考】

・⑤他会計振替＝保険経理の収益より事業費分を繰入れ

### (2) 事業費内訳

単位:千円

科目	令和元年度	令和2年度(A)	令和3年度(B)	前年度比較(B-A)
職員給料	408	383	369	△ 14
職員手当	163	167	156	△ 11
福利厚生費	92	88	84	△ 4
旅費交通費	17	0	33	33
印刷製本費	47	0	35	35
普及費	139	0	207	207
委託費	11,331	0	29,894	29,894
雑費	20	0	41	41
合計	12,217	638	30,819	30,181

【備考】

・委託費＝講演会及びコンサートの実施は、イベント業者へ委託して実施しており、出演者の出演料を含めて委託費として支出。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み、実施しなかったため、人件費以外の費用が発生しなかった。

※令和3年度は、70周年記念事業として、委託費を例年より多く計上し実施。令和2年度未実施により執行しなかった経費を充てた。

### (3) 実施内容

《概要》

県内で、講演会及びコンサートを実施する。

・上越(上越)、中越(中越、魚沼)、下越(新潟、下越、佐渡)に分けて、開催地を決定する。

・講演会とコンサートは同年に同地域で開催しない。

講演会	令和元年度	令和2年度	令和3年度
開催日	R1.10.27	実施せず	(コンサート等を2回実施)
開催地	新潟市		
開催場所	朱鷺メッセコンベンションセンター		
講演者名等	吉田 沙保里		

コンサート	令和元年度	令和2年度	令和3年度
開催日	R1.11.4	実施せず	R3.10.17
開催地	長岡市		上越市
開催場所	長岡市立劇場		上越文化会館
講演者名等	シエナ・ウインド・オーケストラwith青島広志		プリンセス天功 マジック
	吹奏楽		R3.10.31
			新発田市
			新発田市民文化会館 いっこく堂・Mr.マリック 腹話術、マジック

### 3 正味財産増減計算書(実施事業等会計 継2 パソコンソフト等贈呈)

#### (1) 正味財産増減計算書の概要

単位:千円

区分	科目	令和元年度 決算額	令和2年度 決算額 A	令和3年度 決算額 B	前年度比較 (B-A)
収益	収益	0	0	0	0
	計 ①	0	0	0	0
費用	事業費	15,149	15,269	15,161	△ 108
	計 ②	15,149	15,269	15,161	△ 108
評価損益前計上増減額 (①-②) ③		△ 15,149	△ 15,269	△ 15,161	108
投資有価証券評価損益等 ④		0	0	0	0
他会計振替 ⑤		15,149	15,269	15,161	△ 108
正味財産増減額 (③+④+⑤) ⑥		0	0	0	0
正味財産期首残高 ⑦		0	0	0	0
正味財産期末残高 (⑥+⑦) ⑧		0	0	0	0

※⑤他会計振替=実施事業等会計へ事業費分繰入れ

#### (2) 事業費内訳

単位:千円

科目	令和元年度	令和2年度(A)	令和3年度(B)	前年度比較(B-A)
パソコンソフト等贈呈事業	14,473	14,620	14,533	△ 87
職員給料	408	383	369	△ 14
職員手当	163	167	156	△ 11
福利厚生費	92	88	84	△ 4
雑費	13	11	19	8
合計	15,149	15,269	15,161	△ 108

#### (3) 実施内容

《概要》

一年度60の学校へ、1校25万円を限度に生徒等が活用するパソコンソフト、図書及びビデオ・CD・DVD(特別支援学校及び幼稚園のみ遊具を加える)の中で希望する物品を学校が選び、贈呈する。

・上越、中越、下越に分けて、学校数の比率に応じて贈呈校数を順次決定し、小学校→中学校→高等学校等の順に決定する。

・平成10年度に事業開始、平成25年度に県内全学校に贈呈を終了。平成25年度より、2巡目の贈呈を開始している。

地域	令和元年度	令和2年度	令和3年度
上越	小学校10校	小学校9校	中学校6校
中越	小学校24校	小学校24校	小学校6校、中学校19校
下越	小学校26校	小学校27校	小学校7校、中学校22校
実施計画校数合計	60校	60校	60校
贈呈校数合計	60校	60校	60校
備考	-	-	-

## 4 正味財産増減計算書(その他会計 他1 福利厚生)

### (1) 正味財産増減計算書の概要

単位:千円

区分	科目	令和元年度 決算額	令和2年度 決算額 A	令和3年度 決算額 B	増減額 (B-A)
収益	特定資産運用益	10,839	8,257	8,256	△ 1
	受取会費	342,238	332,771	330,160	△ 2,611
	雑収益	14,286	15,516	15,667	151
	計 ①	367,363	356,544	354,083	△ 2,461
費用	事業費	345,042	312,137	319,878	7,741
	計 ②	345,042	312,137	319,878	7,741
評価損益前計上増減額 (①-②) ③		22,321	44,407	34,205	△ 10,202
投資有価証券評価損益等 ④		△ 945	△ 9,952	△ 11,705	△ 1,753
他会計振替 ⑤		0	0	0	0
正味財産増減額 (③+④+⑤) ⑥		21,376	34,455	22,500	△ 11,955
正味財産期首残高 ⑦		1,997,729	2,019,105	2,053,560	34,455
正味財産期末残高 (⑥+⑦) ⑧		2,019,105	2,053,560	2,076,060	22,500

#### 【備考】

- ・①収益/受取会費=掛金。福利厚生経理と法人会計に、事業費按分により計上する。
- ・①収益/雑収益=有価証券運用益、貸付利息等
- ・②費用B/事業費=下記(2)給付事業+(3)その他事業+(4)事業費
- ・④投資有価証券評価損益等=平成30年度より資産運用でその他有価証券(満期保有目的以外の債券)を保有し、時価評価を計上するため発生。

### (2) 給付事業の実績

単位:千円

科目	令和元年度		令和2年度(A)		令和3年度(B)		前年度比較(B-A)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
会員弔慰金	27	13,500	9	4,500	15	7,500	6	3,000
家族弔慰金	526	12,660	476	10,640	470	10,760	△ 6	120
傷病見舞金	796	7,164	735	6,615	608	5,472	△ 127	△ 1,143
障害見舞金	16	1,520	8	680	7	610	△ 1	△ 70
災害見舞金	10	300	2	60	8	520	6	460
出産見舞金	652	13,040	624	12,480	661	13,220	37	740
結婚祝金	364	10,920	385	11,550	338	10,140	△ 47	△ 1,410
入学祝金	696	6,960	664	6,640	633	6,330	△ 31	△ 310
療養給付金	12,478	89,735	12,243	85,617	11,579	79,453	△ 664	△ 6,164
介護休暇給付金	40	2,496	36	2,068	110	6,186	74	4,118
合計	15,605	158,295	15,182	140,850	14,429	140,191	△ 753	△ 659

### (3) その他事業の実績

単位:千円

科目	令和元年度		令和2年度(A)		令和3年度(B)		前年度比較(B-A)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
人間ドック等助成費	7,682	17,285	9,090	19,115	8,813	18,525	△ 277	△ 590
リフレッシュ助成費	1,277	40,245	1,320	39,126	1,473	43,296	153	4,170
供花費	18	371	9	190	10	213	1	23
直営施設宿泊助成費	1,499	3,747	859	2,147	405	1,012	△ 454	△ 1,135
指定宿泊施設利用助成費	452	904	77	154	44	88	△ 33	△ 66
直営施設利用助成	13,935	13,935	555	555	438	438	△ 117	△ 117
直営施設弁当助成	-	-	2,113	2,113	12,037	12,037	9,924	9,924
カフェテリアプラン	16,561	82,626	16,155	80,607	15,448	77,116	△ 707	△ 3,491
計	41,424	159,113	30,178	144,007	38,668	152,725	8,490	8,718

#### 【備考】

- ・人間ドック等助成=令和2年度に、指定年齢ドックの事業廃止及び対象年齢変更。
- ・直営施設利用助成=令和2年3月頃より、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、施設利用者が大きく減少したものの。
- ・直営施設弁当助成=新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、会館での宴会利用が出来ない状況にあったことから、令和2年度に新たに実施。

#### ア 会員退会給付金の給付状況

単位:千円

科 目	令和元年度		令和2年度(A)		令和3年度(B)		前年度比較(B-A)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
会員退会給付金	867	389,037	902	363,799	918	351,587	16	△ 12,212

【備考】

・引当金を取り崩して支払うため、事業費には計上されない。参考に記載。

#### イ 貸付残高の内訳

単位:千円

科 目	令和元年度		令和2年度(A)		令和3年度(B)		前年度比較(B-A)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
生活資金	146	108,665	141	93,128	143	87,824	2	△ 5,304
住宅資金	215	284,844	192	271,991	159	271,934	△ 33	△ 57
住宅災害資金	1	375	1	239	1	103	0	△ 136
災害資金	0	0	0	0	1	400	1	400
奨学資金	4	607	3	19	0	0	△ 3	△ 19
育児休業資金	9	2,313	6	1,895	7	1,732	1	△ 163
自動車資金	225	321,087	291	385,864	335	402,161	44	16,297
教育資金	69	85,221	82	99,975	84	95,325	2	△ 4,650
合計	669	803,112	716	853,111	730	859,479	14	6,368

【備考】

・会員への貸付であるため、事業費には計上されない。参考に記載。

・平成25年度から、自動車資金及び教育資金を新設し、就学準備金及び奨学資金の新規貸付を停止

・近年の貸付事業改正に伴い、新規貸付が増加したため、貸付残高は増加傾向にある。

平成30年1月～:貸付利率を大幅に引き下げ、貸付条件の変更(住宅資金の貸付限度額引き上げ、教育資金の貸付事由拡大、住宅資金及び教育資金の他金融機関等からの借換受付、団体生命信用保険制度の新設、償還猶予項目の追加、無休者への貸付取扱い変更)。

平成31年1月～:教育資金の貸付事由拡大(外国の教育機関への修学費用も可とする。)

平成31年4月～:一般貸付にボーナス償還を導入。

#### (4)事業費の内訳

単位:千円

科 目	令和元年度	令和2年度(A)	令和3年度(B)	前年度比較(B-A)
職員給料	12,344	11,595	11,182	△ 413
職員手当	4,930	5,056	4,734	△ 322
福利厚生費	2,783	2,666	2,529	△ 137
通信運搬費	430	433	434	1
印刷製本費	0	71	0	△ 71
保険料	1,733	2,461	3,066	605
普及費	0	0	138	138
委託費	2,167	2,193	2,112	△ 81
公租公課	3,222	2,787	2,749	△ 38
雑費	25	18	18	0
合計	27,634	27,280	26,962	△ 318

【備考】

・保険料＝貸付事故に備える保険に加入しているもの。貸付残高に保険料率をかけて支払うため、毎年変動する。

・普及費＝事務局と会館が一体となり実施する収支均衡に向けた方策実現のためにかかる経費を計上。広報費や研修費等。

## 5 正味財産増減計算書(その他会計 他2 保険)

### (1) 正味財産増減計算書の概要

単位:千円

区分	科目	令和元年度 決算額	令和2年度 決算額 A	令和3年度 決算額 B	増減額 (B-A)
収益	事業収益	26,616	25,231	23,476	△ 1,755
	雑収益	233	145	145	0
	計 ①	26,849	25,376	23,621	△ 1,755
費用	事業費	3,377	3,665	3,655	△ 10
	計 ②	3,377	3,665	3,655	△ 10
評価損益前計上増減額 (①-②) ③		23,472	21,711	19,966	△ 1,745
投資有価証券評価損益等 ④		0	0	0	0
他会計振替 ⑤		△ 27,366	△ 15,908	△ 45,981	△ 30,073
正味財産増減額 (③+④+⑤) ⑥		△ 3,894	5,803	△ 26,015	△ 31,818
正味財産期首残高 ⑦		99,613	95,719	101,522	5,803
正味財産期末残高 (⑥+⑦) ⑧		95,719	101,522	75,507	△ 26,015

#### 【備考】

- ・①収益/事業収益=生命保険料の団体取扱いによる手数料収益
- ・⑤他会計振替=実施事業等会計へ事業費分繰入れ。令和2年度の振替額が例年より少なかったのは、公益文化事業の実施を中止したことによるもの。令和3年度は、公益文化事業を70周年記念事業として、委託費を例年より多く計上し実施。令和2年度未実施により執行しなかった経費を充てた。

### (2) 事業費の内訳

単位:千円

科目	令和元年度	令和2年度(A)	令和3年度(B)	前年度比較
職員給料	816	767	739	△ 28
職員手当	326	334	313	△ 21
福利厚生費	184	176	167	△ 9
委託費	16	14	17	3
公租公課	1,986	2,327	2,374	47
雑費	49	47	45	△ 2
合計	3,377	3,665	3,655	△ 10

### (3) 年度末取扱件数及び保険会社別手数料内訳

単位:千円

科目	令和元年度		令和2年度(A)		令和3年度(B)		前年度比較(B-A)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
ジブラルタ生命	17	81	14	77	11	50	△ 3	△ 27
第一生命	938	4,294	867	3,996	789	3,645	△ 78	△ 351
マニユライフ生命	14	65	0	28	0	0	0	△ 28
富国生命	1,853	6,093	1,736	5,762	1,631	5,436	△ 105	△ 326
朝日生命	138	572	126	514	123	504	△ 3	△ 10
明治安田生命	291	1,463	283	1,359	275	1,326	△ 8	△ 33
住友生命	471	2,454	453	2,381	411	2,192	△ 42	△ 189
プルデンシャル生命	1,747	7,246	1,734	7,025	1,643	6,658	△ 91	△ 367
アフラック生命	2,539	4,194	2,372	3,947	2,076	3,547	△ 296	△ 400
オリックス生命	60	154	56	142	45	118	△ 11	△ 24
合計	8,068	26,616	7,641	25,231	7,004	23,476	△ 637	△ 1,755

※マニユライフ生命は、指定の取扱件数に達しなかったことから、令和2年度中に契約終了。



## 6 正味財産増減計算書(その他会計 他3 医療互助)

### (1) 正味財産増減計算書の概要

単位:千円

区分	科目	令和元年度 決算額	令和2年度 決算額 A	令和3年度 決算額 B	増減額 (B-A)
収益	受取入会金	56,927	50,014	45,407	△ 4,607
	雑収益	4,017	3,983	4,329	346
	計 ①	60,944	53,997	49,736	△ 4,261
費用	事業費	73,383	60,740	59,311	△ 1,429
	計 ②	73,383	60,740	59,311	△ 1,429
評価損益前計上増減額 (①-②) ③		△ 12,439	△ 6,743	△ 9,575	△ 2,832
投資有価証券評価損益等 ④		0	△ 1,920	△ 2,410	△ 490
他会計振替 ⑤		0	0	0	0
正味財産増減額 (③+④+⑤) ⑥		△ 12,439	△ 8,663	△ 11,985	△ 3,322
正味財産期首残高 ⑦		583,897	571,458	562,795	△ 8,663
正味財産期末残高 (⑥+⑦) ⑧		571,458	562,795	550,810	△ 11,985

#### 【備考】

- ・①収益/受取入会金=加入時に一括して会費を受け取り、納入された会費は長期前受金として計上。毎年、各会員の1年分取り崩し額を受取入会金として当年度に計上する。
- ・④投資有価証券評価損益等=令和2年度より資産運用でその他有価証券(満期保有目的以外の債券)を保有し、時価評価を計上するため発生。

### (2) 事業費の内訳

単位:千円

科目	令和元年度		令和2年度(A)		令和3年度(B)		前年度比較(B-A)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
医療見舞金	4,869	65,730	4,240	54,628	3,848	53,533	△ 392	△ 1,095
死亡弔慰金	4	116	3	0	5	0	2	0
長寿祝金	158	1,023	105	0	136	0	31	0
職員給料		2,474		2,324		2,241		△ 83
職員手当		988		1,013		949		△ 64
福利厚生費		558		534		507		△ 27
通信運搬費		330		315		269		△ 46
印刷製本費		194		0		0		0
委託費		1,027		1,036		893		△ 143
公租公課		540		535		588		53
雑費		403		355		331		△ 24
合計	5,031	73,383	4,348	60,740	3,989	59,311	△ 359	△ 1,429

#### 【備考】

- ・医療見舞金=加入者数の減少に伴い、給付金額も減少しているもの。
- ・死亡弔慰金・長寿祝金=慶弔給付引当金として給付最低額を負債計上しており、引当金を取り崩して支払うため、事業費には計上されない。(引当金の取り崩しで足りない場合に費用として計上する。)

### (3) 加入者の実績

単位:人

項目	令和元年度	令和2年度(A)	令和3年度(B)	前年度比較(B-A)
新規加入者	114	0	0	0
年度末加入者	1,152	1,044	902	△ 142

- ・退職者医療互助事業は、平成31年4月1日加入を最後に、新規募集を停止。ただし、現加入者が退会するまで事業は継続する。

## 7 正味財産増減計算書(その他会計 他4 会館 アトリウム長岡)

(1) 正味財産増減計算書の概要

(単位:千円)

区 分	科 目	令和2年度 決 算 額 A	令和3年度		増 減 額 (B-A)	備 考
			変更予算額	決 算 額 B		
正味財産期首残高①		832,024	760,459	760,459	△ 71,565	
収 益	事業収益	56,458	71,122	70,106	13,648	宿泊利用、会議利用、弁当販売上増加
	雑収益	8,347	7,853	8,705	358	雇用調整助成金、コロナ対策給付金等
	取崩益	0	0	0	0	
	補助金	0	0	0	0	
	事業収益計②	64,805	78,975	78,811	14,006	
	繰入金③	0	0	0	0	
収益合計④	64,805	78,975	78,811	14,006		
費 用	人件費	56,054	53,808	53,803	△ 2,251	
	材料費	8,654	10,386	10,839	2,185	
	営業費	38,925	32,659	33,165	△ 5,760	
	事業費用計⑤	103,633	96,853	97,807	△ 5,826	
	繰出金⑥	0	0	0	0	
	減価償却費⑦	32,737	33,635	33,635	898	
費用合計⑧	136,370	130,488	131,442	△ 4,928		
減価償却前損益(②-⑤)⑨	△ 38,828	△ 17,878	△ 18,996	19,832		
当期経常増減額(④-⑧)⑩	△ 71,565	△ 51,513	△ 52,631	18,934		
経常	外収益	0	0	0	0	
	外費用	0	0	0	0	
	差引⑪	0	0	0	0	
正味財産増減額(⑩+⑪)⑫	△ 71,565	△ 51,513	△ 52,631	18,934		
正味財産期末残高(①+⑫)⑬	760,459	708,946	707,828	△ 52,631		

【参考】

他会計からの繰入状況

(単位:千円)

会計区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
法人会計(一般会計)	0	0	180,649	70,350	7,295	0	0	0
累計	305,351	305,351	486,000	556,350	563,645	563,645	563,645	563,645

施設利用助成の状況

(単位:人、千円)

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	利用人数	助成額	利用人数	助成額	利用人数	助成額	利用人数	助成額
宿泊	1,620	4,050	1,506	3,765	863	2,158	371	928
宴会	5,736	5,736	5,950	5,950	869	869	2,668	2,668
合計	7,356	9,786	7,456	9,715	1,732	3,027	3,039	3,596

※法人会計借入金の状況

会計区分	令和2年度	令和3年度
法人会計借入金	53,000	17,000
累計	53,000	70,000

施設名 アトリウム長岡

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
利 用 人 員	宿 泊	5,420 人	3,184 人	3,640 人	(対前年 456 人)
	宿 泊 利 用 率	62.7 %	37.0 %	42.2 %	(対前年 5.3 %)
	会 議	26,135 人	14,798 人	17,427 人	(対前年 2,629 人)
	宴 会	11,026 人	488 人	448 人	(対前年 △ 40 人)
	法 事	269 人	4 人	44 人	(対前年 40 人)
	弁 当	人	1,189 人	3,348 人	(対前年 2,159 人)
	ゲ リ ル	11,176 人	9,851 人	9,601 人	(対前年 △ 250 人)
計		54,026 人	29,514 人	34,508 人	(対前年 4,994 人)
事 業 収 益 等	利用料収益	43,826 千円	32,624 千円	38,444 千円	(対前年 5,820 千円)
	飲食料収益1	49,870 千円	16,296 千円	23,174 千円	(対前年 6,878 千円)
	飲食料収益2	19,163 千円	1,381 千円	1,346 千円	(対前年 △ 35 千円)
	奉仕料収益	10,290 千円	3,696 千円	4,431 千円	(対前年 735 千円)
	商品売上収益	1,390 千円	293 千円	554 千円	(対前年 261 千円)
	雑 収 益	3,127 千円	2,168 千円	2,157 千円	(対前年 △ 11 千円)
	事業収益計 ①	127,666 千円	56,458 千円	70,106 千円	(対前年 13,648 千円)
の 内 訳	雑 収 益 ②	503 千円	8,347 千円	8,705 千円	(対前年 358 千円)
	繰 入 金 ③	0 千円	0 千円	0 千円	(対前年 0 千円)
	補 助 金 ④	0 千円	0 千円	0 千円	(対前年 0 千円)
	取 崩 益 ⑤	0 千円	0 千円	0 千円	(対前年 0 千円)
	経 常 収 益 (①+②+③+④+⑤) ⑥	128,169 千円	64,805 千円	78,811 千円	(対前年 14,006 千円)
事 業 費 用 等 の 内 訳	職員給料・手当	6,128 千円	5,930 千円	5,649 千円	(対前年 △ 281 千円)
	賃 金	51,695 千円	43,796 千円	42,237 千円	(対前年 △ 1,559 千円)
	退職給付費用	359 千円	372 千円	371 千円	(対前年 △ 1 千円)
	福利厚生費	6,458 千円	5,956 千円	5,546 千円	(対前年 △ 410 千円)
	(人件費)計 ⑦	64,640 千円	56,054 千円	53,803 千円	(対前年 △ 2,251 千円)
	飲 食 材 料 費	17,134 千円	7,647 千円	9,681 千円	(対前年 2,034 千円)
	飲 料 材 料 費	6,613 千円	816 千円	800 千円	(対前年 △ 16 千円)
	商 品 仕 入	1,024 千円	191 千円	358 千円	(対前年 167 千円)
	(材料費)計 ⑧	24,771 千円	8,654 千円	10,839 千円	(対前年 2,185 千円)
	旅 費	71 千円	86 千円	134 千円	(対前年 48 千円)
通信運搬・印刷製本	932 千円	619 千円	762 千円	(対前年 143 千円)	
消 耗 品 費	3,861 千円	3,096 千円	3,907 千円	(対前年 811 千円)	
光 熱 水 料	14,696 千円	12,380 千円	13,729 千円	(対前年 1,349 千円)	
公 租 公 課 等	11,604 千円	11,906 千円	3,591 千円	(対前年 △ 8,315 千円)	
そ の 他	13,704 千円	10,838 千円	11,042 千円	(対前年 204 千円)	
(営業費)計 ⑨	44,868 千円	38,925 千円	33,165 千円	(対前年 △ 5,760 千円)	
事業費小計(⑦+⑧+⑨) ⑩	134,279 千円	103,633 千円	97,807 千円	(対前年 △ 5,826 千円)	
繰 出 金 ⑪	0 千円	0 千円	0 千円	(対前年 0 千円)	
償 却 費 ⑫	32,926 千円	32,737 千円	33,635 千円	(対前年 898 千円)	
経常費用(⑩+⑪+⑫) ⑬	167,205 千円	136,370 千円	131,442 千円	(対前年 △ 4,928 千円)	
営業損益(①-⑩) ⑭	△ 6,613 千円	△ 47,175 千円	△ 27,701 千円	(対前年 19,474 千円)	
減価償却前損益 (①+②+④+⑤-⑩)	△ 6,110 千円	△ 38,828 千円	△ 18,996 千円	(対前年 19,832 千円)	
経常損益(⑥-③)-(⑬-⑪) ⑮	△ 39,036 千円	△ 71,565 千円	△ 52,631 千円	(対前年 18,934 千円)	
人件費売上対比率⑦÷①	50.6%	99.3%	76.7%		
材料費売上対比率⑧÷①	19.4%	15.3%	15.5%		
営業費売上対比率⑨÷①	35.1%	68.9%	47.3%		
営業損益売上対比率⑭÷①	-5.2%	-83.6%	-39.5%		
経常損益比率(⑥-③)÷(⑬-⑪)	76.7%	47.5%	60.0%		

## 8 正味財産増減計算書(その他会計 他4 会館 高陽荘)

(1) 正味財産増減計算書の概要

(単位:千円)

区 分	科 目	令和2年度	令和3年度		増 減 額 (B-A)	備 考
		決 算 額 A	変更予算額	決 算 額 B		
正味財産	期首残高①	382,794	356,595	356,595	△ 26,199	
収 益	事業収益	15,306	25,546	27,834	12,528	弁当販売売上増
	雑収益	7,996	10,008	9,409	1,413	雇用調整助成金、コロナ対策給付金等
	取崩益	0	0	0	0	
	補助金	0		0	0	
	事業収益計②	23,302	35,554	37,243	13,941	
	繰入金③	0	0		0	
	収益合計④	23,302	35,554	37,243	13,941	
費 用	人件費	16,929	17,257	17,062	133	
	材料費	6,660	12,774	14,756	8,096	弁当仕入分増
	営業費	14,847	11,894	11,706	△ 3,141	
	事業費用計⑤	38,436	41,925	43,524	5,088	
	繰出金⑥	0	0		0	
	減価償却費⑦	11,065	10,959	10,959	△ 106	
	費用合計⑧	49,501	52,884	54,483	4,982	
	減価償却前損益(②-⑤)⑨	△ 15,134	△ 6,371	△ 6,281	8,853	
	当期経常増減額(④-⑧)⑩	△ 26,199	△ 17,330	△ 17,240	8,959	
経常	外収益	0	0	0	0	
	外費用	0	0	0	0	
	差引⑪	0	0	0	0	
	正味財産増減額(⑩+⑪)⑫	△ 26,199	△ 17,330	△ 17,240	8,959	
	正味財産期末残高(①+⑫)⑬	356,595	339,265	339,355	△ 17,240	

【参考】

他会計からの繰入状況

(単位:千円)

会計区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
法人会計(一般会計)	0	0	2,484	56,144	0	0	6,802	0
累計	399,889	399,889	402,373	458,517	458,517	458,517	465,319	465,319

施設利用助成の状況

(単位:人、千円)

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	利用人数	助成額	利用人数	助成額	利用人数	助成額	利用人数	助成額
宴会・弁当	11,515	11,515	7,985	7,985	1,803	1,803	7,582	7,582
合計	11,515	11,515	7,985	7,985	1,803	1,803	7,582	7,582

※法人会計借入金の状況

会計区分	令和2年度	令和3年度
法人会計借入金	23,000	6,000
累計	23,000	29,000

施設名 高陽荘

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
利 用 人 員	宿 泊	人	人	人	(対前年 0 人)
	宿泊利用率	%	%	%	(対前年 0.0 %)
	会 議	20,635 人	7,442 人	9,768 人	(対前年 2,326 人)
	宴 会	11,940 人	637 人	517 人	(対前年 △ 120 人)
	法 事	13 人	0 人	0 人	(対前年 0 人)
	弁 当	人	2,433 人	8,239 人	(対前年 5,806 人)
	グ リ ル	人	人	人	(対前年 0 人)
計		32,588 人	10,512 人	18,524 人	(対前年 8,012 人)
事 業 収 益 等 の 内 訳	利用料収益	12,058 千円	4,912 千円	6,958 千円	(対前年 2,046 千円)
	事業 飲食料収益1	34,722 千円	7,231 千円	16,334 千円	(対前年 9,103 千円)
	飲食料収益2	17,010 千円	1,285 千円	1,106 千円	(対前年 △ 179 千円)
	奉仕料収益	6,374 千円	1,331 千円	2,445 千円	(対前年 1,114 千円)
	商品売上収益	1,311 千円	300 千円	597 千円	(対前年 297 千円)
	雑 収 益	759 千円	247 千円	394 千円	(対前年 147 千円)
	事業収益計 ①	72,234 千円	15,306 千円	27,834 千円	(対前年 12,528 千円)
	雑 収 益 ②	414 千円	7,996 千円	9,409 千円	(対前年 1,413 千円)
	繰 入 金 ③	6,802 千円	0 千円	0 千円	(対前年 0 千円)
	補 助 金 ④	0 千円	0 千円	0 千円	(対前年 0 千円)
取 崩 益 ⑤	0 千円	0 千円	0 千円	(対前年 0 千円)	
経 常 収 益 (①+②+③+④+⑤) ⑥	79,450 千円	23,302 千円	37,243 千円	(対前年 13,941 千円)	
事 業 費 用 等 の 内 訳	職員給料・手当	6,096 千円	3,687 千円	3,809 千円	(対前年 122 千円)
	賃 金	14,783 千円	11,872 千円	11,792 千円	(対前年 △ 80 千円)
	退職給付費用	2,623 千円	0 千円	0 千円	(対前年 0 千円)
	福利厚生費	2,421 千円	1,370 千円	1,461 千円	(対前年 91 千円)
	(人件費)計 ⑦	25,923 千円	16,929 千円	17,062 千円	(対前年 133 千円)
	飲 食 材 料 費	25,733 千円	5,918 千円	13,987 千円	(対前年 8,069 千円)
	飲 料 材 料 費	6,024 千円	523 千円	413 千円	(対前年 △ 110 千円)
	商 品 仕 入	984 千円	219 千円	356 千円	(対前年 137 千円)
	(材料費)計 ⑧	32,741 千円	6,660 千円	14,756 千円	(対前年 8,096 千円)
	旅 費	13 千円	15 千円	15 千円	(対前年 0 千円)
通信運搬・印刷製本	690 千円	688 千円	607 千円	(対前年 △ 81 千円)	
消 耗 品 費	864 千円	737 千円	537 千円	(対前年 △ 200 千円)	
光 熱 水 料	3,226 千円	2,449 千円	2,830 千円	(対前年 381 千円)	
公 租 公 課 等	3,813 千円	3,535 千円	845 千円	(対前年 △ 2,690 千円)	
そ の 他	8,411 千円	7,423 千円	6,872 千円	(対前年 △ 551 千円)	
(営業費)計 ⑨	17,017 千円	14,847 千円	11,706 千円	(対前年 △ 3,141 千円)	
事業費小計(⑦+⑧+⑨) ⑩	75,681 千円	38,436 千円	43,524 千円	(対前年 5,088 千円)	
繰 出 金 ⑪	0 千円	0 千円	0 千円	(対前年 0 千円)	
償 却 費 ⑫	11,148 千円	11,065 千円	10,959 千円	(対前年 △ 106 千円)	
経常費用(⑩+⑪+⑫) ⑬	86,829 千円	49,501 千円	54,483 千円	(対前年 4,982 千円)	
営業損益(①-⑩) ⑭	△ 3,447 千円	△ 23,130 千円	△ 15,690 千円	(対前年 7,440 千円)	
減価償却前損益 (①+②+④+⑤-⑩) ⑮	△ 3,033 千円	△ 15,134 千円	△ 6,281 千円	(対前年 8,853 千円)	
経常損益(⑥-⑬)-(⑮-⑪) ⑯	△ 14,181 千円	△ 26,199 千円	△ 17,240 千円	(対前年 8,959 千円)	
人件費売上対比率⑦÷①	35.9%	110.6%	61.3%		
材料費売上対比率⑧÷①	45.3%	43.5%	53.0%		
営業費売上対比率⑨÷①	23.6%	97.0%	42.1%		
営業損益売上対比率⑭÷①	-4.8%	-151.1%	-56.4%		
経常損益比率(⑥-⑬)÷(⑯-⑪)	83.7%	47.1%	68.4%		

## 9 正味財産増減計算書(法人会計)

### (1) 正味財産増減計算書の概要

単位:千円

区分	科目	令和元年度 決算額	令和2年度 決算額 A	令和3年度 決算額 B	増減額 (B-A)
収益	特定資産運用益	953	856	765	△ 91
	受取会費	41,849	41,550	35,465	△ 6,085
	雑収益	723	171	431	260
	計 ①	43,525	42,577	36,661	△ 5,916
費用	管理費	42,192	38,989	34,433	△ 4,556
	繰出額	6,802	0	0	0
	計 ②	48,994	38,989	34,433	△ 4,556
評価損益前計上増減額 (①-②) ③		△ 5,469	3,588	2,228	△ 1,360
投資有価証券評価増益等 ④		0	0	0	0
他会計振替 ⑤		0	0	0	0
正味財産増減額 (③+④+⑤) ⑥		△ 5,469	3,588	2,228	△ 1,360
正味財産期首残高 ⑦		440,506	435,037	438,625	3,588
正味財産期末残高 (⑥+⑦) ⑧		435,037	438,625	440,853	2,228

#### 【備考】

- ・①収益/受取会費=掛金。福利厚生経理と法人会計に、事業費按分により計上する。
- ・①収益/繰入額及び②費用/繰出額=会計間の資金移動がある場合に計上。平成30年度～令和元年度は、法人会計と会館経理の資金移動

### (2) 管理費の内訳

単位:千円

科目	令和元年度	令和2年度(A)	令和3年度(B)	前年度比較(B-A)
職員給料	9,870	9,272	8,941	△ 331
職員手当	3,942	4,043	3,785	△ 258
退職給付費用	142	152	645	493
福利厚生費	2,225	2,132	2,022	△ 110
職員旅費	400	98	119	21
会議費	496	350	229	△ 121
通信運搬費	1,214	762	875	113
消耗品費	1,487	2,005	1,576	△ 429
印刷製本費	1,358	1,141	1,026	△ 115
委託費	4,641	5,421	4,123	△ 1,298
賃借料	897	885	835	△ 50
負担金	880	666	706	40
公租公課	7,421	5,393	2,837	△ 2,556
支払寄付金	500	500	500	0
減価償却費	6,059	6,072	6,099	27
雑費	660	97	115	18
合計	42,192	38,989	34,433	△ 4,556

#### 【備考】

- ・消耗品費=令和2年度は、事務用品購入の増、会館のタイムレコーダーの購入により増加したものの。
- ・委託費=令和2年度は会員管理システムの改修があったため増加したものの。
- ・公租公課=消費税及び資産運用益にかかる源泉税を支出するもの。  
令和元年度は、一昨年、前年の会館工事に係り前年度の納付消費税が少なかったため、支払消費税が増加したものの。  
令和2年度は、前年度に会館工事がなかったこと、消費税率の変更があったことにより変動したものの。
- ・支払寄付金=いじめ見逃しゼロ県民運動協賛金を支出しているもの。
- ・雑費=令和元年度はPCB廃棄物を廃棄処理したため増加したものの。